

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人つくし野学園 聖母幼稚園

1、教育目標

聖母幼稚園は、神様の温かい愛に包まれて、一人ひとりが大切にされ、命を尊び「生きる」喜びにあふれた家庭的な幼稚園です。

子どもたちは、落ち着いた雰囲気の中で自分らしくのびのびと活動し、自然や他者とのかかわりを通して、豊かな心を養い、心身ともに強くたくましく成長していきます。

安心して生活できる明るい社会のために、家庭・地域と連携し、お互いに支え見守りながら、未来に向かって共に歩んでいきます。

2、令和4年度年間目標

- ・職員、子ども、保護者との信頼関係を深めながら、子どもたちが愛されていると実感できる幼稚園になる。
- ・モンテッソーリ教育を通して自主的で集中できる活動に取り組み、落ち着いて行動できるようになる。
- ・地域や環境に配慮した取り組み、世界について学ぶ機会をつくり、子どもたちが英語教育を通して言葉や文化の違いを楽しむ。

3、職員 評価項目の達成状況

	評価項目	平均評価	達成状況
幼稚園経営	幼稚園教育の基本方針と組織	B	教育基本方針の見直し、修正を全職員で行う機会を設け、目標を設定し共通理解をもって日々の幼稚園活動・保育に取り組むよう意識してきた。
	保育内容の確認	A	行事について減らすことはしないながらも、行事中心の保育にならないよう内容の達成度を見直すことで負担を軽減し、子ども一人ひとりがのびのびと園生活を送れるよう月案・週案・日案の計画を行ってきた。
	保育内容・実務の確認	A	モンテッソーリ教育・英語教育・体操指導・音楽指導と幅広い体験ができたことで、豊かな成長を育む。 日々の関わりから子ども一人ひとりの発達段階や興味・関心を見極め、記録、評価、反省し、保育に生かしている。

	研修と研究	B	園外研修に関してはそれぞれ職員が積極的に取り組むことができているが、報告会での共有の機会が少なかったことや園内研修の実施も不足であった。 幼小連携について、子ども同士の直接的な関りは難しかったが、『就学支援シート』や電話による聞き取り調査の活用で就学に向けての連携を行っている。
	保護者との関係	A	職員間で共通認識のもと丁寧な保護者対応を意識してきたことや、保護者の意見・要望を真摯に受け止め迅速な対応を心掛けてきたことで、信頼関係構築に効果が表れている。
子育て支援	幼稚園機能の拡大	A	ひよこ組（未就園児親子）の宣伝・内容の充実を計画し実施した効果があり、利用者が増えたが0歳～1歳児の親子が殆どのため、令和5年度の入園には繋がらなかった。
幼稚園管理	安全点検 諸法規の遵守 リスク対応 適正な事務処理	B	職員全体で安全対策の強化を意識できるよう再確認を行った。不審者対応については訓練を実施している。以前より問題視されているセキュリティ対策に不安がある状態である。

4、保護者 学校評価アンケート結果

※アンケート結果（回答数 27家庭）

【 A よくあてはまる B ややあてはまる C ややあてはまらない D あてはまらない 】

	評価項目	A	B	C	D
幼稚園経営	子どもたちはカトリックの精神で育成されている	55.6%	44.4%	0%	0%
	幼稚園は保護者の相談に適切に対応してくれる	70.4%	25.9%	3.7%	0%
	環境整備が十分行われている	51.9%	37.0%	11.1%	0%
	園庭・園舎が清潔で整頓されている	74.1%	25.9%	0%	0%
職員・子どもの姿	子どもは楽しく幼稚園に通っている	22%	18.5%	0%	0%
	保護者は幼稚園の様子がよくわかる	25.9%	51.9%	18.5%	3.7%
	子どもや職員はすすんで挨拶ができる	63%	33.3%	3.7%	0%
	子どもや職員の雰囲気が良く、明るく活気がある	59.3%	40.7%	0%	0%
	職員は子どもの様子を家庭によく知らせている	33.3%	48.1%	18.5%	0%
	職員は子どもをよく褒めてくれる	66.7%	33.3%	0%	0%
保護者	子どもが自分のことは自分でできるように対応している	51.9%	48.1%	0%	0%
	幼稚園からの手紙や連絡をよく理解して提出物は期限を守っている	66.7%	29.6%	3.7%	0%
	子どもの様子に変化があれば幼稚園に相談している	40.7%	44.4%	14.8%	0%

5、評価結果まとめと課題

混合クラス保育の経験が、年齢の異なる子どもとの交流を通して、社会性、協調性を身に着けることができ、また、モンテッソーリ教育や英語教育を通して、地域や違う文化に関心を持てる子どもを育てることにつながっている。

職員が園児獲得プロジェクトを通して、幼稚園活動や保育に意識して取り組んできた成果が、保護者アンケートの満足度の向上や、未就園児親子クラスの参加者数にも表れてきている。これからも保護者の意見や要望を真摯に受け止め、全職員間で情報共有と意見交換・共通理解を深めるための機会の設定に努める。

COVID-19の制限が緩和されることで、園外保育や地域と関わる体験を増やし、感覚、感性を高める機会と学びによって、さらなる教育の質の向上を目指す。

6、学校関係者評価委員会の評価

園の自己評価は適切に行われている。

コロナ対策を講じつつも幼稚園教育の大切にすべきことは守り、**With** コロナの在り方を考え実行できている。今後取り組むべき課題を明確化し、具体的な活動へと繋げ、保護者や教員の生の声を生かし、幼稚園教育、運営の改善を進めてほしい。